

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年8月18日 (2016.8.18)

【公開番号】特開2016-74740(P2016-74740A)

【公開日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-028

【出願番号】特願2016-17684(P2016-17684)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/706 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 13/12

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/706

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月20日 (2016.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単球数の増加を促す、ヒト患者における感染症治療用の医薬を製造するための、単球媒介免疫応答を引き起こす組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の使用であって、該医薬は、組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の効果的な複数回投与単位からなり、該誘導体は、M H C クラス I I 分子に結合するという L A G - 3 の能力を維持する L A G - 3 の変異体、変種もしくは断片である、使用。

【請求項 2】

各投与単位が、0 . 2 5 ~ 3 0 m g の組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体を含んでなる、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

各投与単位が、6 ~ 3 0 m g の組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体を含んでな

る、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の前記複数回投与単位が、少なくとも 1 2 週間にわたって 1 週間～数週間ごとに 1 回、1 3 日 ± 2 日の無投与期間をあけて 1 回の投与単位を投与できるように調剤されている、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の使用。

【請求項 5】

前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の各投与単位は、皮下投与または静脈投与できるように調剤されている、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の使用。

【請求項 6】

前記複数回投与単位が、前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体を、少なくとも 6 回投与できるように調剤されている、請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 7】

前記複数回投与単位が、前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体を 2 週間おきのスケジュールで投与できるように調剤されている、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の使用。

【請求項 8】

組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の前記投与単位は、抗感染症の免疫治療特性または化学治療特性を有する化合物の投与の前に、該化合物の投与と同時に、あるいは該化合物の投与の後に投与できるように調剤されている、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の使用。

【請求項 9】

前記化合物が化学療法薬剤である、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

前記化合物が抗ウイルス薬である、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 11】

前記複数回投与単位が、抗感染症の免疫治療特性または化学治療特性を有する前記化合物の最初の投与の後に前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を投与できるように調剤されている、請求項 8 ～ 10 のいずれかに記載の使用。

【請求項 12】

前記複数回投与単位が、抗感染症の免疫治療特性または化学治療特性を有する前記化合物を投与してから 1 2 時間から 9 6 時間後に、前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を投与できるように調剤されている、請求項 8 ～ 11 のいずれかに記載の使用。

【請求項 13】

前記複数回投与単位が、抗感染症の免疫治療特性または化学治療特性を有する前記化合物の最初の投与から 1 日あるいは 2 日後に、前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を投与できるように調剤されている、請求項 8 ～ 12 のいずれかに記載の使用。

【請求項 14】

同時に、別々に、もしくは連続して使用するための、組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体と、治療抗体とを含んでなる、ヒト患者における感染症治療用の部品のキットであって、該誘導体は、M H C クラス I I 分子に結合するという L A G - 3 の能力を維持する L A G - 3 の変異体、変種もしくは断片である、部品のキット。

【請求項 15】

同時に、別々に、もしくは連続して使用するための、組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体と、抗感染症の化学治療特性を有する化合物とを含んでなる、ヒト患者における感染症治療用の部品のキットであって、該誘導体は、M H C クラス I I 分子に結合するという L A G - 3 の能力を維持する L A G - 3 の変異体、変種もしくは断片である、部品のキット。

【請求項 16】

前記化合物が化学療法薬剤である、請求項 15 に記載の部品のキット。

【請求項 17】

前記化合物が抗ウイルス薬である、請求項 15 に記載の部品のキット。

【請求項 18】

単球媒介免疫応答を引き起こす組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体の効果的な複数回投与単位を含んでなる、ヒト患者における感染症治療用の医薬であって、該誘導体は、M H C クラス I I 分子に結合するという L A G - 3 の能力を維持する L A G - 3 の変異体、変種もしくは断片である、医薬。

【請求項 19】

少なくとも 6 回投与単位の前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を含んでなる、請求項 18 に記載の医薬。

【請求項 20】

各投与単位が、0 . 25 ~ 30 m g の前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を含んでなる、請求項 18 または 19 に記載の医薬。

【請求項 21】

各投与単位が、6 ~ 30 m g の前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体を含んでなる、請求項 20 に記載の医薬。

【請求項 22】

前記組換え L A G - 3 タンパク質または誘導体の各投与単位は、皮下投与または静脈投与用に調剤されている、請求項 18 ~ 21 のいずれかに記載の医薬。

【請求項 23】

前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体が、組換え可溶性ヒト L A G - 3 I g 融合タンパク質 I M P 3 2 1 を含んでなる、請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載の使用。

【請求項 24】

前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体が、組換え可溶性ヒト L A G - 3 I g 融合タンパク質 I M P 3 2 1 を含んでなる、請求項 14 ~ 17 のいずれかに記載の部品のキット。

【請求項 25】

前記組換え L A G - 3 タンパク質またはその誘導体が、組換え可溶性ヒト L A G - 3 I g 融合タンパク質 I M P 3 2 1 を含んでなる、請求項 18 ~ 22 のいずれかに記載の医薬。

【請求項 26】

前記抗ウイルス薬がリバビリンである、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 27】

前記抗ウイルス薬がリバビリンである、請求項 17 に記載の部品のキット。